

令和4年度第5回海老名市市民活動推進委員会 次第

日時：令和5年3月4日（土）午前9時15分から

場所：えびな市民活動センタービナレッジ大会議室2

1 開会

2 挨拶

3 議題

- (1) 令和4年度海老名市市民活動推進補助金 交付事業視察の報告
- (2) 令和5年度海老名市市民活動推進補助金の交付認定に係るプレゼンテーション審査
- (3) 交付団体の決定及び交付金額の決定について

4 今後の予定について

【市長への答申】

日時：令和5年3月10日（金） 10時

場所：海老名市役所3階 市長応接室

出席：渋谷委員長、瀬戸副委員長、事務局

5 閉会

第5回市民活動推進委員会（プレゼン審査） 進行スケジュール

時刻	所要時間	内容
9:15 ~ 9:17	2分	開会、委員長挨拶
9:17 ~ 9:22	5分	プレゼン審査の説明
9:22 ~ 9:30	8分	準備など
9:30 ~ 9:50	20分	確認① (特非) 南えびなスポーツクラブ
9:50 ~ 10:10	20分	確認② ABLAZE神奈川
10:10 ~ 10:30	20分	確認③ フリースクール SACHI station
10:30 ~ 10:40	10分	休憩
10:40 ~ 11:00	20分	確認④ えびなみんなにやさしいごはんプロジェクト
11:00 ~ 11:20	20分	確認⑤ まなピタネット
11:20 ~ 11:40	20分	確認⑥ サウナスポットえびな
11:40 ~ 12:00	20分	確認⑦ えびなアレルギーサークルデイジー
12:00 ~ 13:00	60分	昼休憩
13:00 ~ 13:20	20分	確認⑧ (特非)おおきな木
13:20 ~ 13:40	20分	確認⑨ 自主夜間中学「えびなえんぴつの会」
13:40 ~ 14:00	20分	確認⑩ えびなメサイアの会
14:00 ~ 14:20	20分	確認⑪ えびなユース合唱プロジェクト
14:20 ~ 14:30	10分	休憩
14:30 ~ 14:50	20分	確認⑫ Root
14:50 ~ 15:10	20分	確認⑬ 相模国分寺跡の景観を守る会
15:10 ~ 15:20	10分	休憩&集計
15:20 ~ 15:50	30分	交付団体及び金額の決定
15:50 ~ 15:55	5分	閉会、次回の推進委員会について

令和4年度海老名市市民活動推進補助金

交付団体事業視察 報告書

1 団体

特定非営利活動法人おおきな木

2 事業概要

(1) 事業名称

参加型音楽活動「ドラムサークル」でつながろう！

(2) 交付金額

300,000円（自立編2回目）

(3) 事業内容

障がい、音楽経験の有無に関わらず、誰もが対等な立場で参加することができるドラムサークルを社会に広める（年10回）

3 視察詳細

(1) 日時

令和5年2月23日（木・祝日） 11:00～12:00

(2) 場所

わかば会館3階 体育室

(3) 出席者

市民活動推進委員3名 渋谷委員長、木下委員、高橋委員

市民活動推進課1名 山田

4 当日の様子、所見

(1) 当日は12名の参加者がおりほとんどが親子での参加であったが、一人で参加される方もいらっしやった。

(裏面へ)

- (2) 基本的な進行は専門家が行い、太鼓をたたく指示などを出していたが、参加者の中から選出された臨時的な指揮者によって太鼓をたたくこともあった。
- (3) 参加者は（講師も含む）ニックネームで呼びあっていた。
- (4) 参加者によっては太鼓をたたくことが難しい場合もあるが、ドラムサークルは太鼓を演奏しなくても、聞いているだけで効果があるとのことであり、誰もが参加できる事業であると改めて認識した。

【参考】

① 受付



② 開催時の様子



令和4年度海老名市市民活動推進補助金
交付団体事業視察 報告書

1 団体

Women's life care

2 事業概要

(1) 事業名称

産前産後のママの身体ケア啓蒙活動事業

(2) 交付金額

200,000円（充実編）（1回目）

(3) 事業内容

ア 女性の身体や子どもの発達に関する冊子の作成

イ ママパパのためのLife care講座の開催

3 視察詳細

(1) 日時

令和5年2月26日（日） 13:30～15:30

(2) 場所

ビナガーデンズパーチ5階 IDEAコミュニティカレッジ

(3) 出席者

ア 市民活動推進委員

大島委員、川田委員、塩地委員

イ 事務局（市民活動推進課）

中村

4 当日の様子、所見

(1) 保育スタッフを配置していたため、参加者は子どもを預けて講座に参加されていた。

(2) 講師：2名、参加者（定員6組）：5組（6名）の体制で事業が実施されており、個別指導を行う場面もあったことから、定員は適当だと考える。

(3) 団体関係者に2月までに開催した講座の応募状況について伺ったところ、毎回キャンセル待ちの状況とのことであった。（各回定員は6組）

(4) 市内における需要が高く、産前産後の母親の居場所づくりとして地域コミュニティを形成する事業であることから補助金交付事業に相応しいものとする。

【参考】写真

受付、入口



配布資料



会場内の様子



実施要領（プレゼンテーション審査）

1 目的

補助金の交付審査にあたり、書類だけでは伝わりきらない団体の考えや思いを、プレゼンテーション（以下、「プレゼン」という。）により伝えていただく場とする。また、委員と団体で直接質疑応答を行い、その回答内容も判断材料に含めて交付可否及び金額を決定する。

2 対象団体

期日までに審査申込みがあった全13団体

3 プレゼン

（1）実施場所

えびな市民活動センター ビナレッジ 大会議室 2

※ 団体控室 305会議室

（2）実施日

令和5年3月4日（土）

（3）出席者

ア 各団体8名以内

※ 委員会からの質問に対して回答できる方

※ 発表者及びPC操作者

イ 市民活動推進委員 8名

ウ 事務局6名

（4）実施方法

ア 団体は控え室で待機し、事務局の案内により大会議室2へ移動する。

イ 入室後、2分以内で発表の準備をする。

ウ 各団体は、資料を用いて、申請内容を7分以内で説明する。

エ 各団体の発表終了後、委員と団体で8分程度の質疑応答を行う。

オ 団体の退出後、委員は9項目の基準により各自で採点を行う。

カ 全団体の発表終了後、各委員の評価を基に、交付の可否及び交付金額について審査し、決定する。（審査は非公開）

(5) 審査基準

審査基準	審査の視点（説明）
公益性	多くの市民が事業の効果を受けられる事業か。
自立性	補助金だけでなく、団体の運営費を持っているか。
計画性	事業の計画に無理がなく、実現可能であるか。 ----- 事業の予算に無理がなく、積算も適正であるか。
発展性	この補助金をきっかけに、事業や団体が発展できるか。
地域性	市民や地域のニーズを的確にとらえた、社会的に必要性のある事業であるか。
先駆性・ 独創性	新しい取り組みで、行政が実施する場合と違う手段や効果が期待できるか。
団体能力	事業を実施する上で、必要な能力（知識、人材など）を備えているか
熱意・意欲	団体の熱意や意欲が感じられるか。

[点数の判断]

5点・・・良い

4点・・・どちらかというが良い

3点・・・普通

2点・・・どちらかというが悪い

1点・・・悪い

(6) 留意事項

ア 予め提出された書類の他に、当日に資料を追加することも認める。

※ 当日に追加する場合は、14部印刷し持参すること。

イ プレゼンで使用する資料（電子データを含む）の出来については、評価の対象外とする。

ウ 発表時間までに会場に到着していない場合は、失格とする。ただし、大規模災害、交通機関等の事故等によりやむを得ない理由がある場合には、この限りでない。

4 審査（非公開）

（1） 合否の基準

各委員が各団体に対して行った採点結果から平均点を算出し、合否を決定する。合格基準は27点以上とし、基準未満は補助の対象外とする。

（2） 合否の基準

合格した団体において、対象経費等が適切であるか、協議を行う。

※ 条件付き交付や、申請額から減額して交付する場合もある。

※ 千円未満の端数は切り捨てとする。

5 その他

（1） 審査の結果について

3月下旬ごろまでに、各団体宛てに文書で通知する。

（2） 今後の手続きについて

合格した団体の今後の手続きについては、結果と併せて通知する。また、不合格の団体については、今後の手続きは不要とする。